【カルボプラチン＋パクリタキセル＋オプジーボ療法について】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様　　［　　］コース目

お薬の名前と治療のスケジュール（副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。）

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
イメンドカプセル	吐き気止めです	1日1回　内服	💊	💊	💊																			💊
グラニセトロン注	吐き気止めです	30分	💉	デキサート注には、吐き気止めとしての作用もあります。																				💉
ポララミン注	過敏症を抑えるお薬です																							
ファモチジン注																								
デキサート注																								
オプジーボ注	抗がん剤です	30分	💉																					💉
パクリタキセル注	抗がん剤です	3時間	💉																					💉
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間	💉																					💉

*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障がある方はお知らせください。

治療による副作用

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症	■																					■
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	食欲不振・吐き気	■	■	■																			■
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	筋肉痛・関節痛	■	■	■																			■
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																					
	口内炎			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																					
	手足のしびれ			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																					
	脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）														■	■	■	■	■	■	■	■	■
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
検査値	白血球減少								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		貧血の症状（めまい・ふらつき）がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	肝機能低下			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなることがあります。																					

*オプジーボの副作用については別紙を用いて説明します。

＊注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
＊上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
＊それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
＊何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部